

スプリングエフェメラル ミニ図鑑

春、雑木林の地表や野原を彩る草花の中に、“スプリングエフェメラル(春の儂い命)”と呼ばれる一群があります。彼らは、頭上の木々の葉や周囲の草花が成長する前に自らの葉を展開し、陽の光を独占します。そして、開花～結実という一生のサイクルをわずか数週間のうちに終えて、地上から姿を消してしまいます。地下の根茎や球根に栄養を蓄え、次の春に向けて長い眠りに入るのです。一年のうち、観察できる期間はごくわずか。可憐な花姿をどうぞお見逃しなく!

カタクリ *Erythronium japonicum* (ユリ科)



花期：3～4月
観察ポイント：長池公園（カタクリ観察路）ほか

北斜面の山裾など、湿った樹林下に群生する多年草。桃色の花は下を向いて開き、陽が差すと6枚の花被片が反り返ります。種子はアリに運ばれて広がりますが、花が咲くまでにはじつに8～9年の歳月を要します。

アマナ *Amana edulis* (ユリ科)



花期：3～4月
観察ポイント：長池公園（自然館周辺）ほか

日当たりが良く、少し湿った芝草地などに咲く多年草。花は天氣の良い日に開き、白い花被片の裏側に美しい赤紫の筋があります。花はあっちを向いたりこっちを向いたり、みんなバラバラなのが不思議ですね。

シロボウエンゴサク *Corydalis decumbens* (ケシ科)



花期：4～5月
観察ポイント：傘平緑地（雑木林の園路沿い）ほか

雑木林の林縁や草地に咲く多年草。直径1cmほどの丸い塊茎を持ち、そこから複数の葉や花茎を出します。伊勢地方では、スミレを“太郎坊”、本種を“次郎坊”と呼び、花の距どうしを引っかけた遊んだそうです。

ムラサキケマン *Corydalis incisa* (ケシ科)



花期：3～4月
観察ポイント：各地の公園緑地

道ばたの草地や林縁に群生する多年草。もっとも身近に見られるスプリングエフェメラルです。花はシロボウエンゴサクとよく似ていますが、葉がニンジンのように細かく切れ込むことや地下に塊茎をもたないことで区別できます。

アズマイチゲ *Anemone raddeana* (キンポウゲ科)



花期：3～4月
観察ポイント：長池公園（カタクリ観察路）ほか

雑木林の林縁や草地で稀に見られる多年草。花びら状の白い萼片が8～13枚ほどあり、晴れた日に開花します。茎の葉は下に垂れることが多く、先端がわずかに切れ込んでいることも特徴です。

ニリンソウ *Anemone flaccida* (キンポウゲ科)



花期：4～5月
観察ポイント：陽光台緑地・堀之内番場公園・堀之内沖ノ谷戸公園ほか

半日陰の林縁や水辺に群生する多年草。花は二輪とは限らず、一輪のものや三輪以上付いたものも見られるため、葉の形が大事な識別ポイントになります。近縁種のイチリンソウについては「表紙のこたば」をご参照下さい。